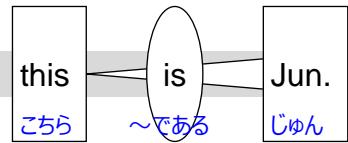


◇ Ms. Chen, this is Jun.

チェン先生



チェン先生、こちらはじゅんです。

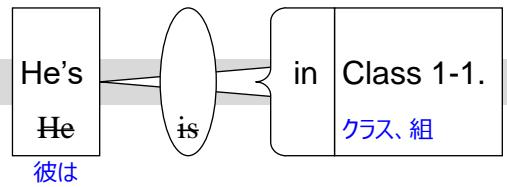
※ Ms. ~ : {女性に対して} ~さん、~先生  
Mr. ~ : {男性に対して} ~さん、~先生

※ this : {自分から近くにいる人、物を指して} こちら、これ

※ ○○は～であるの全パターン【主語とbe動詞の対応】

- 1. 私 I am
- 2. あなた You are
- 3. その他 ○○ is
- B. 2人以上 ○○ are

◆ He's in Class 1-1.



彼は1-1組の一員です。

◆ he : {既に言及された男性について言う時} 彼は  
\* he が主語なら be動詞は is

※ he's : he is の短縮形

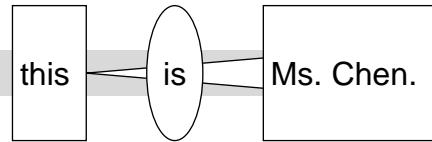
※ in [ ] : □ [場所] で、の中で in the gym(体育館の中で) ;

▣ [所属先/会員となっている先] の一員で

☆ ~の中 in the art club(美術部の一員)

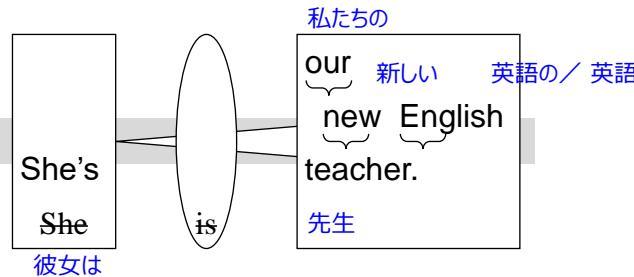
◇ Jun, this is Ms. Chen.

じゅん、こちらはチェン先生です。



◆ She's our new English teacher.

彼女は私たちの新しい英語の先生です。

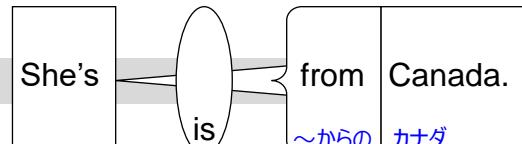


◆ she : {既に言及された女性について言う時} 彼女は  
\* she が主語なら be動詞は is

※ she's : she is の短縮形

◇ She's from Canada.

彼女はカナダ出身です。



※ from [ ] : ☆ 起点 ～から

□ [場所/人/物] から from school(学校から(帰るなど)) ;

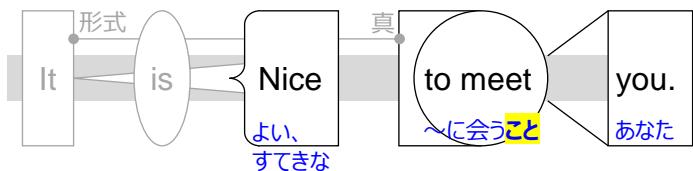
▣ [出身地・出所] から、出身

◇ Hello, Jun.

こんにちは、じゅん。

◇ Nice to meet you.

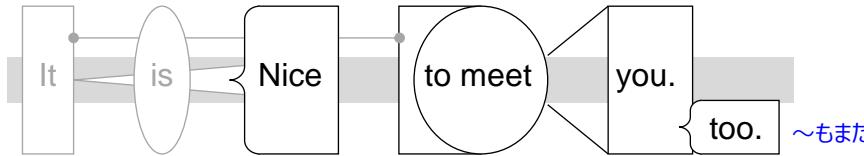
あなたにお会いするのはうれしいです。→ はじめまして。



※ to meet : 会うこと < to + 動詞の原形 > 「～すること」  
 \* 2年生で詳しく学習

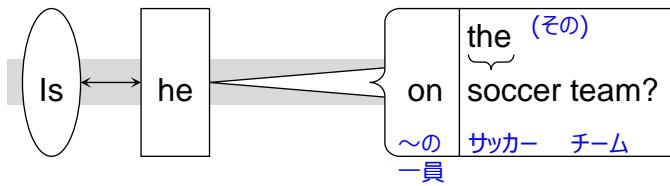
◇ Nice to meet you, too.

あなたにお会いするのもうれしいです。→ こちらこそ、はじめまして。



◆ Is he on the soccer team?

彼はサッカー・チームの所属ですか。



◆ be動詞は主語と順序を入れ替えると質問する文になる

※ on [ ] : □ [場所/人物] の上・表面で(接触して)  
 on the stage(ステージ上で) ;  
 ☆ 接触 □ [所属先/参加している先] の一員で

※ the ~ : {状況から皆が特定できる人・物に言及する時}  
 (その)～ \*この学校のサッカー・チーム

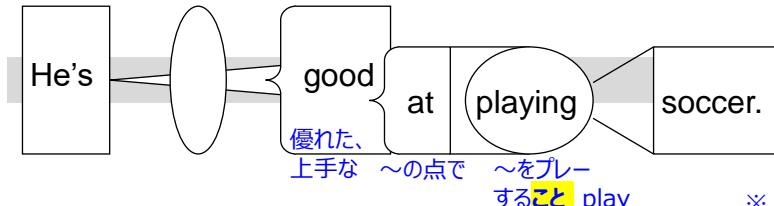
◆ Yes, he is.

はい、(彼は) そうです。

◆ 「はい」と答える文 <Yes, + 主語 + be動詞 .>

◇ He's good at playing soccer.

彼はサッカーをプレーするのが上手です。



※ at [ ] : □ [建物/地点など] で at the door(ドアの所で) ;  
 ☆ 一点 □ [評価対象の活動・テーマ] において

※ playing : プレーすること < ...ing> ...は動詞 「...すること」  
 \* 2年生で詳しく学習

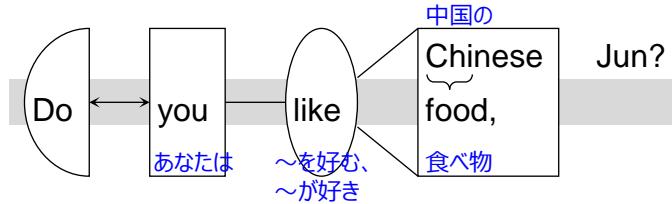
◇ Cool!

かっこいいですね！

※ cool : □ {気温など} 涼しい ;  
 □ 冷静な ;  
 □ {\*1940年代頃～} かっこいい

◇ Do you like Chinese food, Jun?

あなたは中国の食べ物が好きですか、じゅん。



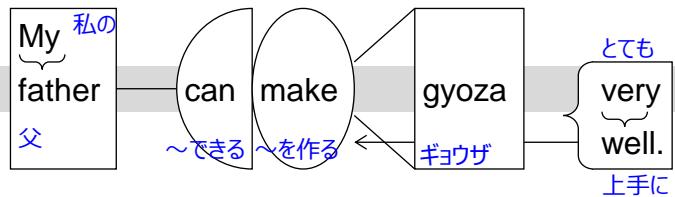
※ 一般動詞では do を主語の前に置くと質問する文になる

◇ Yes, I do.

はい、(私は)好きです。

◆ My father can make gyoza very well.

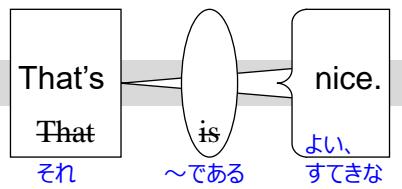
私の父はとても上手にギョウザを作れます。



◆ 助動詞 can < can + 動詞の原形>  
{能力・可能}「～できる」

◇ That's nice.

それはいいですね。



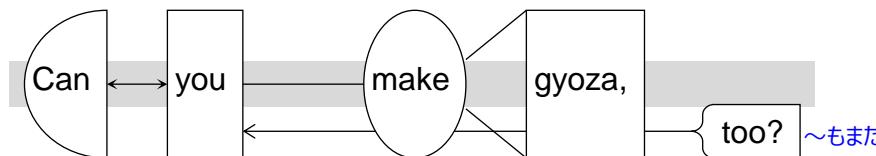
※ that : □ {自分から遠くにいる人、物を指して} あちら、あれ；  
図 {既に言及された人、物、考え方などを指して} それ；

※ that's : that is の短縮形

※ ○○は～であるの全パターン【主語とbe動詞の対応】  
・ 1. 私 I am | 2. あなた You are | 3. その他 ○○ is  
・ B. 2人以上 ○○ are

◆ Can you make gyoza, too?

あなたもギョウザを作れますか。



◆ 助動詞は主語と順序を入れ替えると質問する文になる

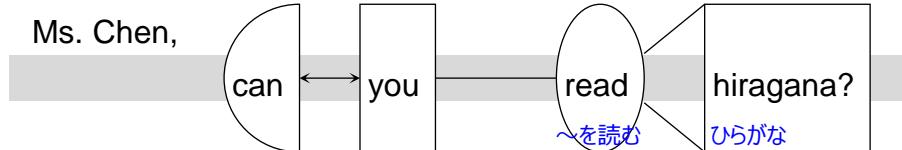
◆ Yes, I can.

はい、(私は)作れます。

◆ 「はい」と答える文 <Yes, + 主語 + can. >

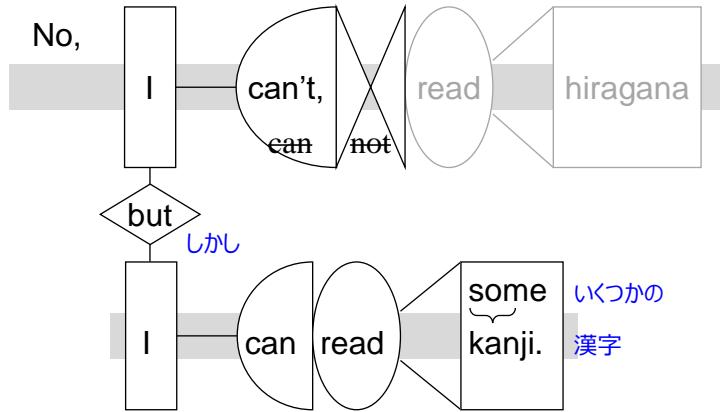
◇ Ms. Chen, can you read hiragana?

チェン先生、あなたはひらがなを読みますか。



◆ No, I can't, but I can read some kanji.

いいえ、(私は) 読めません、でも私はいくつかの漢字を読みます。



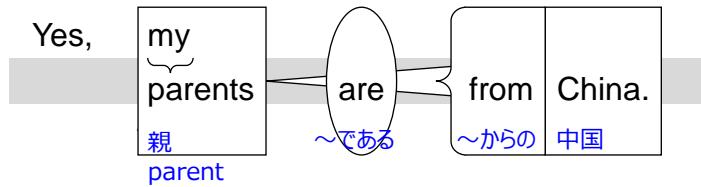
- ◆ 「いいえ」と答える文 <No, + 主語 + cannot. >
- ※ can't: cannot の短縮形 can not 書いてもOK
- ◆ 助動詞の後に not を置くと「～ない」と否定する文になる I cannot read hiragana. (ひらがなを読めない)
- ※ some: {肯定文で}{正確な数/量を言わない時に} いくらかの  
\* 少しでもたくさんでも使える (文脈による)

◇ Really?

本当に?

◇ Yes, my parents are from China.

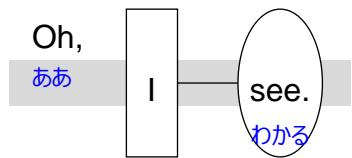
はい、私の両親は中国出身です。



- ※ parent: 親(父か母)
- parents: 両親 <名詞に s > 2人・2つ以上であることを表す  
\* Unit 4で詳しく学習
- \* 1人を指すなら My parent is from China.

◇ Oh, I see.

ああ、(私は) わかります。→ なるほど。



- ※ see: □ ～を見る・が見える Can you see that?  
(見える? (指差しながら));
- 図 ～を知る・理解する、わかる;
- ～と会う See you.  
(じゃあね/またね(また会うときの挨拶))

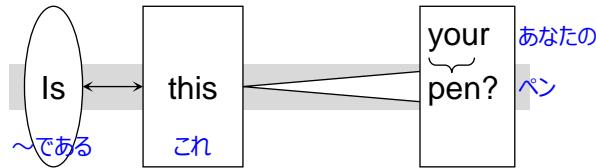
◇ Excuse me.

すいません。

※ excuse me : {特に人に質問したい時に} 人の注意をひくための  
丁寧な表現

※ excuse ~ : ~を許す {不注意・失礼など深刻でない悪い点}

◆ Is this your pen?



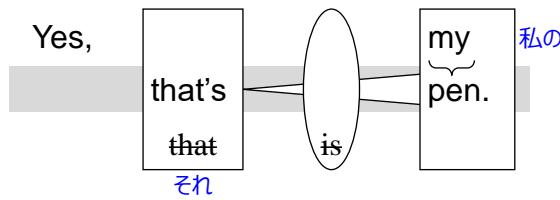
これはあなたのペンですか。

◆ this : {自分から近くにいる人、物を指して} こちら、これ  
\* this/that/it が主語なら be動詞は is

※ ○○は～であるの全パターン【主語とbe動詞の対応】

- 1. 私 I am
- 2. あなた You are
- 3. その他 ○○ is
- B. 2人以上 ○○ are

◆ Oops. Yes, that's my pen.



あらら。はい、それは私のペンです。

◆ that : 図 {自分から遠くにいる人、物を指して} あちら、あれ；  
□ {既に言及された人、物、考えなどを指して} それ；

※ Oops : {小さなミスをした時に言う} おっと！ しまった！

◇ Here you are.

はい、どうぞ。

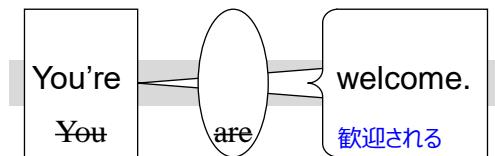
※ Here you are : 人に何かを差し出す時に使う  
(=Here you go)

◇ Thank you.

ありがとうございます。

◇ You're welcome.

どういたしまして。



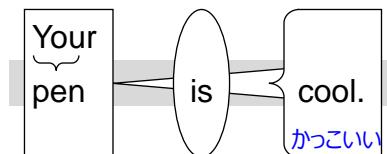
※ you're : you are の短縮形

※ you're welcome : お礼の言葉への丁寧な回答

※ welcome : 歓迎される

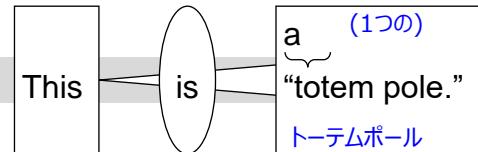
◇ Your pen is cool.

あなたのペンはかっこいいです。



## ◆ This is a “totem pole.”

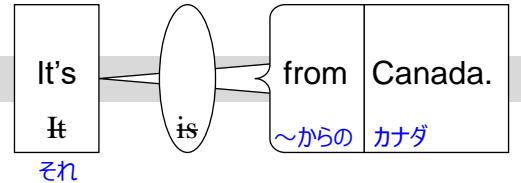
これは「トーテムポール」です。



※ a ~ : {人・物(単体)の一般名・種類を言う時  
(その中の1人・1つに言及する時) } (1人・1つの) ~

## ◆ It's from Canada.

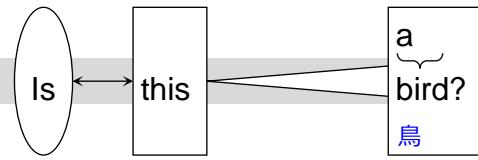
それはカナダからのものです。



◆ it : {既に言及された物(人以外)について言う時} それは  
\* ここでは This(これ)、つまりトーテムポールの柄のペンを指す  
参考) トーテムポール(というものは)はカナダ由来、と話題を変えるなら  
Totem poles are/come from Canada.など  
※ it's : it is の短縮形

## ◆ Is this a bird?

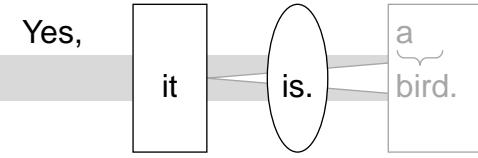
これは鳥ですか。



◆ be動詞は主語と順序を入れ替えると質問する文になる

## ◆ Yes, it is.

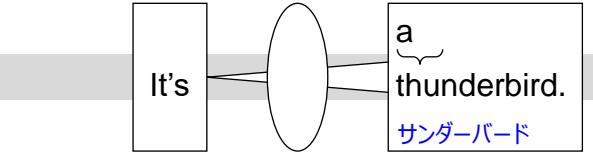
はい、(それは) そうです。



◆ 「はい」と答える文 <Yes, + 主語 + be動詞 . >

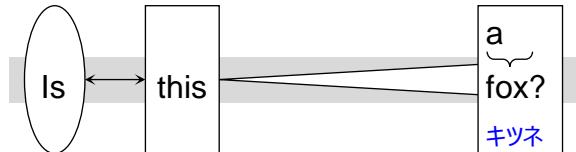
## ◆ It's a thunderbird.

それはサンダーバードです。



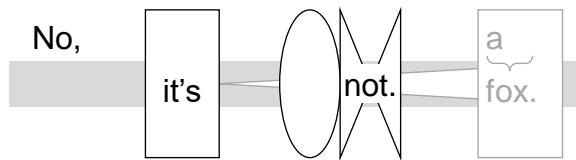
◇ Is this a fox?

これはキツネですか。



◆ No, it's not.

いいえ、（それは） そうではありません。



◆ 「いいえ」と答える文 &lt;No, + 主語 + be動詞 + not. &gt;

◇ It's a wolf.

それはオオカミです。

